【非営利活動／有志プロジェクト】

マンション管理組合理事長勉強会 RJC48 様



RJC48(マンション管理組合理事長勉強会)は、マンション管理組合の運営に役員などの立場で参加している人や参加経験がある人の集まりです。 それぞれのマンションで奮闘する理事長や大規模修繕委員会の委員長など、理事会役員の経験者が多数参加しており、勉強会を中心に活発な情報交換をしています。

アンケートや「いいね！」機能で勉強会運営がスムーズに

プロジェクトの概要

RJC48(マンション管理組合理事長勉強会)は、マンション管理組合の運営に役員などの立場で参加している人や参加経験がある人の集まりです。
それぞれのマンションで奮闘する理事長や大規模修繕委員会の委員長など、理事会役員の経験者が多数参加しており、勉強会を中心に活発な情報交換をしています。

当初は Twitter などで知り合ったメガマンションの理事長 6 名ほどで始まりましたが、現在では、50 以上のマンションから参加人数は約 60 人、総戸数は 20,000 戸を超えます。主な活動としては、定期的に

copyright © Cybozu

理事会運営に関するノウハウを共有する勉強会イベントを開催しています。これまでも、地方自治体が実施する教室的なものや、マンション管理士事務所が開催しているものなどがありましたが、いずれも理事会役員初心者を対象としていて、理事長をやっていて本当に困っていることには応えてくれません。RJC48 では理事長をやって汗をかいた経験者にしかわからない、生の貴重な理事会運営ノウハウが共有されています。



桜井 賢一様（左）、應田 治彦様（右）

プロジェクトの課題

メーリングリストの限界

当初はメーリングリストを使って 50 人ほどのメンバーでコミュニケーションしていましたが、色々と課題を感じていました。新しく RJC48 に加入した人には最初に自己紹介してもらうのですが、既存のメンバーが一言ずつ返信するだけであっという間に大量のメールが溢れてしまうのです。量が多すぎて一つ一つ内容を確認するだけでも大変ですし、挨拶メールに埋もれて他の投稿を見落としてしまうことが多々ありました。

複数のテーマについて同時に議論しにくいことも問題でした。「議論中のテーマとは別の話題を投稿したら、議論を遮ってしまうかもしれない」「投稿が多すぎて他のメンバーは嫌になってないだろうか」と心配になって、投稿を控えてしまうこともありました。 また、メーリングリストでは情報のやり取

copyright © Cybozu

りがその場限りになってしまうため、有益な情報がやり取りされていても、それらの情報を後から参加したメンバーは参照できず、ノウハウがストックされないことも課題でした。

そんな折、勉強会で委員会活動におけるサイボウズ Live の活用を紹介し、RJC48 での利用を提案してみたところ、その便利さから徐々に利用が広がり、現在では多いときには日に数十件の投稿がやり取りされるまでになりました。その後メーリングリストは閉鎖してしまいました。

サイボウズ Live の導入効果

情報交換がさらに活発になり、ノウハウの共有が進む

サイボウズ Live の掲示板にテーマ別のトピックをつくることで、議論を整理できるようになりました。テーマごとに沢山の書き込みがあっても、特に関心のあるトピックだけ選んで読むことが出来ます。例えば「節電」に興味がある人は「節電」に関するトピックだけ読めばいいのです。後から RJC48 に参加した人も、掲示板で過去のやりとりをすべて確認できるようになりました。一つのトピックに対してコメントが時系列で表示されるので、画面をスクロールするだけで簡単に議論の流れを追うことができます。



多岐にわたるテーマについて活発に議論されている

メールのトラフィック増加による議論の混乱を気にすることなく、気楽に情報を書き込めるようになり、情報交換がさらに活発になりましました。
スマートフォンアプリで通勤中などに新着情報をチェックすることができるのも良いですね。隙間時間

copyright © Cybozu

を有効活用してみんなの書き込みをフォローできます。
いまでは、掲示板で質問すれば、1 日もしないうちに多数の有益な事例が集まってきます。

メンバーとの距離が近くなった

毎日サイボウズ Live 上でやりとりしているので、メンバーとはずっと一緒にいるような感覚があります。勉強会イベントで実際に顔を合わせるのは 3 ヶ月に 1 回程度ですが、久しぶりに合ったという感じがしません。メンバー同士の心理的距離が近くなっていると思います。
勉強会イベントはいつもとても盛り上がり、朝まで飲みながら延々とマンションの理事会運営について議論していたこともあります。サイボウズ Live によってそうしたオフラインの場の盛り上がりを、そのままオンライン上に持ってくることができたと感じています。



RJC48 のグループ

特徴的な運用方法

copyright © Cybozu

カテゴリを予め作っておく

サイボウズ Live を導入した時に、まず始めに掲示板にカテゴリを作成しました。カテゴリごとにトピックを作成し、「一つのトピック上では一つの内容しか扱わない」というルールを徹底することにしました。これはとてもうまくいったと思います。もしカテゴリを分けていなかったら、どこに何の情報があるのかわからなくなって、誰も書き込まなくなっていったかもしれません。 ナレッジバンクとして１年２年たっても後から加入した人にとって宝の山になるように、情報の仕分けには特に注意しています。



カテゴリを予め作成しておき、メンバーが迷わず投稿できるようにしている

勉強会イベントの日程調整はアンケート機能で行う

サイボウズ Live のアンケート機能を使うことで、開催日の日程調整や懇親会の出欠確認が格段に効率化しました。以前はメーリングリストでメンバーに複数の候補日を伝えて、参加可能な日を返信してもらっていました。各メンバーの回答を Excel に入力して集計していたのですが、参加人数が多いこともあってとても手間がかかり、負担になっていました。

copyright © Cybozu



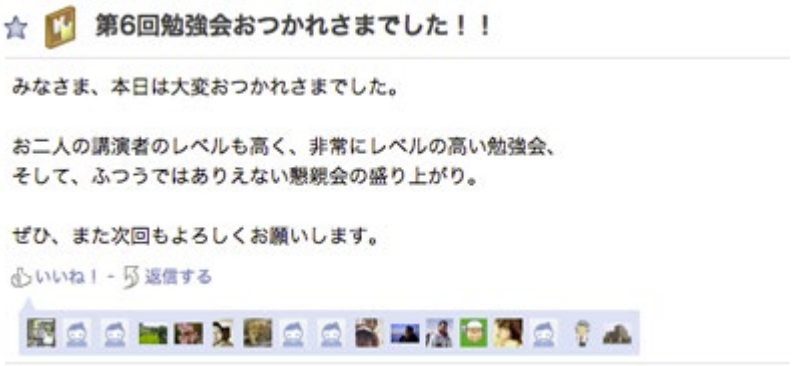
メンバーの都合が可視化され、日程調整が簡単に

他のメンバーの都合が自動的に集計されて可視化されるので、投票数が多い候補日にあわせて各自が都合を調整してくれるようになりました。おかげで 1 週間も経たずに日程が決まるようになりました。

ここがお勧め！便利な機能

「いいね！」が"足跡"代わりに

投稿に"いいね！"がつけられるのが便利です。 自分の投稿に対して返信がなくても見てくれたことがわかります。SNS の mixi に「足あと」機能がありますが、それと近い感覚です。
「いいね！」の多寡で「今回の書き込みには共感が多いな」といったようにみんなの受け取り方を確認できます。いっきに 50 人から「いいね！」がつく場合もあれば、1 人か 2 人からしか「いいね！」がつかない場合もあって面白いですね。コメントする余裕がない場合でも「いいね！」を押すだけで気軽に議論に"参加"できます。



「いいね！」で気軽にコミュニケーションに参加できる

copyright © Cybozu

参加メンバーだけの閉じた場を作れる

参加メンバー以外には非公開なのがいいですね。それぞれが居住するマンションのリアルな情報を交換することが多く、アクセス制御ができないオープンな掲示板は使うことができませんから。
閉じた範囲で情報共有をする必要があるマンション管理組合理事会にはとても適しているなと感じます。実際に RJC48 のメンバーの中にもサイボウズ Live の便利さを実感して、理事会の情報共有ツールとして導入をした人が何人もいます。

copyright © Cybozu